

コロナ禍における子ども会活動事例紹介

①子ども会名 安城市 山中子ども会	②タイトル クリスマス会
③参加人数 30人	④予算 37000円

⑤活動内容・工夫した点・感想等

12月10日に山中公民館で行いました。

コロナ禍ということで、検温・消毒・マスク着用の基本的なコロナ対策を徹底し、公民館の広いホールの窓を開け、サーキュレーターと扇風機を回した会場を設定しました。

密になったり、接触が多い内容は避けるよう思考を重ね、

①プロジェクターを使ってクリスマスの映画鑑賞

②〇×クイズ（タフロープで仕切った〇ゾーンと×ゾーンのどちらか正解だと思うほうに個人で移動する）

③新聞紙ゲーム（一人一枚、広げた新聞紙の上に立ち、役員とじゃんけんをして負けたら半分に折る。何度も繰り返す、折りたたまれてだんだん小さくなっていく新聞紙の上に立てなくなった子から脱落）

新聞紙ゲームは、役員が子どもの立つ位置を決め、子ども間の感覚を十分に取ることができ、友達の様子を見ながらも個人で楽しむことができたので、とても盛り上がりました。

④サンタクロースとトナカイ（着ぐるみ）からのプレゼント渡しを行いました。

映画鑑賞も〇×クイズも子ども同士で手をつないだりせず、大きな声を出す必要もないので、コロナ禍での楽しみには適していたと思います。

最後に、着ぐるみも手袋を着用して出口付近でクリスマスプレゼントを渡し、貰った子から公民館を出て流れ解散という形にしました。

クリスマス会自体を開催するかどうか悩みましたが、少しでも安全な形で、子どもたちが楽しめるような、子ども会に入っていてよかったなと思えるような会にできないかと、役員間で何度も話し合いをして準備をしました。

子どもたちからも、保護者の方からも、とても楽しかった、子どもが喜んで帰ってきたとの声が届き、大成功だったと感じます。

